

岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集 原稿執筆要領

1. 用紙サイズ

原稿は全て A4 版用紙にワープロ（Microsoft-Word）で作成することを原則とする。

2. 投稿原稿

原稿は版下原稿（そのまま製版できるように割り付けした原稿）とし、次の規格に従うものとする。

1) 総合論文・学術論文

総合論文・学術論文は、次に示す執筆要領に従うものとする。横書き用および縦書き用の 2 種類がある。横書きを原則とするが、人文科学系論文で記述上必要がある場合は縦書き用を選択してもよい。なお原稿の長さは、各々刷り上り 12 頁以内を原則とする。

① 横書き用

- 1) 本文は日本語、または英語とする。
- 2) 原稿は横書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2400 文字（25 文字×48 行、2 段組）とする。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、英文要旨、キーワード、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語および英語（本文が英語の場合は英語および日本語）とし、日本語は MS ゴシック 14pt、英語は Times New Roman 12pt とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 12 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。また改行して英語（Times New Roman 12 pt）を表記する。
 - ③ 英文要旨は、論文の内容の主要な点を 100 語程度に簡潔にまとめ、刷り上り本文の前に据える。文字は Times New Roman 10pt とする。
 - ④ キーワードは本文の内容を表すのにふさわしい 3 語（英語および日本語）を記載する。文字は行頭に Times New Roman 10.5pt ボールドおよびイタリックとし、キーワード本体は Times New Roman 10.5pt および MS 明朝 10.5pt とする。
 - ⑤ 所属は、本学教員の場合は次の通りとする。生活科学科は学科名および専攻名を、国際文化学科は学科名のみとする。共同研究者は正式な所属機関名を記載する。

② 縦書き用

- 1) 本文は日本語とする。
- 2) 原稿は縦書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2170 文字（35 文字×31 行、2 段組）とする。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語とし MS ゴシック 14pt とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 12 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。
- 5) 論文の最終ページには次の項目を記載する。英文タイトル（Times New Roman 14pt）、氏名（Times New Roman 12pt）、英文アブストラクト（100 字以内、Times New Roman 10.5pt）、キーワード（英語および日本語）および所属（キーワードおよび所属の記載方法は横書きの場合と同様とする）。

2) 研究報告・総説・解説・資料・書評・調査報告

研究報告・総説・解説・資料・書評・調査報告は、次に示す執筆要領に従うものとする。横書き用のみ 1 種類がある。なお、原稿の長さは、研究報告、解説、資料、書評、調査報告については刷り上り 6 頁以内を原則とし、総説は刷り上り 10 頁以内を原則とする。

- 1) 本文は日本語、または英語とする。
- 2) 原稿は横書き 2 段組とし、1 ページ文字数は 2400 文字（25 文字×48 行、2 段組）とする。
- 3) マージンは上 25mm、下 25mm、左 20mm、右 20mm とし、ヘッダーフッターは利用しない。
- 4) 第 1 ページ目は表題、氏名、キーワード、所属学科・専攻または所属機関等の記載の分だけ本文記入が削減される。これらの記載方法は次の通りである。実際のレイアウトは別紙記入例を参照のこと。
 - ① 表題は日本語および英語（本文が英語の場合は英語および日本語）とし、日本語は MS ゴシック 14pt、英語は Times New Roman 12pt とする。
 - ② 氏名は MS 明朝 12 pt とし、名前の最後に*等の記号を付して、所属と対応させる。また改行して英語（Times New Roman 12 pt）を表記する。
 - ③ キーワードは本文の内容を表すのにふさわしい 3 語（英語および日本語）を記載する。文字は行頭に Times New Roman 10.5pt ボールドおよびイタリックとし、キーワード本体は Times New Roman 10.5pt および MS 明朝 10.5pt とする。
 - ④ 所属は、本学教員の場合は次の通りとする。生活科学科は学科名および専攻名を、国際文化学科は学科名のみとする。共同研究者は正式な所属機関名を記載する。

3. 全般的な執筆に関する細則

- 1) 論文等に使用する用語は、各専門分野の学術用語集等を適宜参考にすること。なお情報・システム情報機構、国立情報学研究所では、「オンライン学術用語集（Online Scientific Terms）」を提供しているので、必要に応じて適宜利用されたい（URL <http://scitern.nii.ac.jp/cgi-bin/reference.cgi>）。
- 2) 単位および単位記号は SI 単位系（JIS Z 8203-2000 国際単位系（SI）およびその使い方）とする。
- 3) 図・表の文字、説明、表題は原則として英文とし、図には Fig.1, Fig.2, 表には Table 1, Table 2 のように通し番号を付ける。
- 4) 注・引用文献・参考文献の表記は右上付き文字とし、引用順に通し番号を付ける。本文の注及び引用文献の書式は下記の通りとする。
 - ・雑誌の場合：著者名，論文タイトル，雑誌名，巻，ページ（最初と最後），年号の順。
 - ・著書（単行本）の場合：タイトル，書名（編著），（巻），ページ（最初と最後），出版社，年号の順。注）雑誌名の略記は、各々専門分野における一般的表記の仕方を参考とする。